

SSU NEWS

SHIZUOKA SANGYO UNIVERSITY

MAY 2025

VOL. 41

静岡産業大学広報誌

SSU NEWS

MAY 2025 VOL. 41

【発行】SSU NEWS 企画・編集 企画
【発行日】2025年5月15日発行

学校法人新静岡学園
静岡産業大学

藤枝キャンパス/〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号 TEL 054-645-0191(代表)
豊田キャンパス/〒438-0043 静岡県豊田市中原1572番地1 TEL 0538-37-0191(代表)
藤枝駅前サテライトキャンパス BVIキャンパス/〒426-0067 静岡県藤枝市前島1丁目7番10号 TEL 054-639-7164

静岡産業大学

SSUから発信中!!

特集1 SNS、どう使ってる？

特集2 産学連携プロジェクト



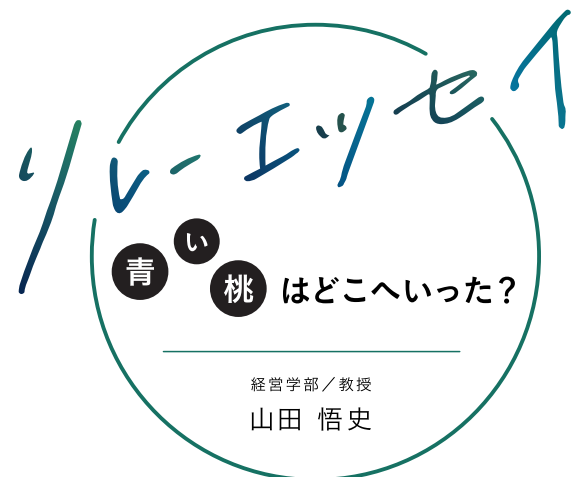
研究のこんなところが面白い!を静岡産業大学の教員が
リレーエッセイ形式でWeb公開中!

あ

る夜、保育園に通う娘が「寝る前に『ももたろう』の話をして」と言うてきました。「緒にお布団に入り、『ももたろう』の話を始めると、おばあさんが川で桃を拾う場面まで進んだところで、娘がふいに「青い桃は?」と聞いてきました。聞き返すと、娘は「赤い桃と青い桃が流れてきて、おばあさんが『赤い桃はこっちへおいで、青い桃はあっちへおいき』と言うと、赤い桃だけおばあさんの近くに寄ってくるんだよ」と言います。どうやらテレビか何かで観た『ももたろう』のお話が、そんなストーリーだったようで、娘の言う通りに話を進めることにしました。私の場合、途中で色々挟んでしまい話が長くなるため、その日は犬・サル・キジを仲間にしたところで「つづく」となりました。その後「水曜日のカンパネラ」の『桃太郎』に出てくるフレーズ「犬とサルは仲たがいがいい、キジは戦力外」を二人で狂ったように繰り返して、さあ寝るかとりました。

ところが、娘がぼつりと「青い桃はどうなったの?」と心配そうに言うので「テレビではどうなった?」と返すと、おばあさんが桃を拾うシーンでしか出てこなかったとのこと。私は「じゃあ、お父さんにもわからないなあ」と言ったのですが、娘はどうしても知りたいと…。なぜそんなに知りたいの?と聞くと「青い桃にも赤ちゃんが入っ

ていたかもしれないじゃん!」と半泣きです。こ、これは簡単に「知らん」と済ませてはいけないやつだと思い「じゃあ、明日のつぎは青い桃に赤ちゃんが入っていたという話にして、青い桃がどうなたかという話をお父さんが考えてお話しするね」ということになり、娘はほっとしたのか瞬時に寝ました。



と聞いたのが運の尽き。「20歳まで」だそうです。父としては「緒に寝られる週末が楽しみな一方、平日は『ストーリー展開どうしよう』と悩む毎日です。ちなみに3ヶ月ほど経った現在は『ヒーモンドラマ』『ミステリー』などの要素を盛り込んだ長編ストーリーと化しており、鬼もまだ退治されていません。そして桃太郎は今、鬼ヶ島を開拓中。それをこっそり見ている黒い影：さて、この先どのような展開になるかは自分でもわかりませんが、娘が楽しんでくれているので、私も楽しいです。皆さんも「青い桃」がどうなったかを考えてみてはいかがでしょうか。きっと楽しいですよ。

ちなみに、娘が観たと思われる『ももたろう』では「青い桃」はそのまゝ流れてしまっただけのようですが、『中津川昔話集(東北文教大学)』によれば、青い桃は「アーンアン」と泣いて流れていったと書かれていました。

拙文を最後までお読みいただいた心優しい方に、本文とは全く関係のないお願いがあります。
アーテリストの『箱波さとし』さんと連絡が取りたいのですが、連絡方法がわかりません。もし「知ってる!」という方がいらっしゃいましたらお教えいただけると嬉し



学校法人新静岡学園
静岡産業大学

大学ホームページはこちら▶



Instagramはこちら▶



一人ひとりが
主役となり、
未来へ羽ばたく。



4月から磐田市観光大使に。
地元の魅力を
たくさんの方に届けたい

磐田市生まれ磐田市育ちの河合さん。他県の方と関わる
ことが多く、グルメや観光スポットを尋ねられたのを機に、地
域の魅力を伝える活動に興味を持ったと言います。大学で
観光大使募集のチラシを見つけ、これだと直感。「新茶ま
つりや遠州大名行列に参加し、多くの方とふれあう中で、
磐田市がもっと好きになりました」。将来の夢は子どもに関
わる仕事に就くこと。故郷の魅力を未来へつないでいます。

経営学部 心理経営学科
河合 さやかさん 3年
静岡県・磐田東高等学校出身



SNS、 どう使ってる？

今押さえておきたい！SNSの「ポテンシャル」と「リスク」

リアルタイムで情報を得たり、同じ考えをもつ人とつながったり。今やSNSは暮らしに欠かせないインフラの1つです。しかし、その使い方を十分に理解している人はどのくらいいるのでしょうか。本学の学生のSNS事情を調査するとともに、SNSのポテンシャルとリスクについて経営学部の先生方にお話を伺いました。



インフルエンサーを突き止めて、ビジネスに活かそう

永田 奈央美 教授

経営学部

専門分野：教育工学、学習科学

SNS上のありとあらゆるデータは可視化できることをご存じですか？ 私たちもデータ分析することでビジネスに役立てることが可能です。例えば配信を続けると、どんな人が情報を拡散し、それをどんな人が閲覧し購買へとつながっているのかが明らかになり、「このコンテンツのインフルエンサーはだれか」という仮説を立てられるようになります。そのインフルエンサーと仮定した人の行動パターンと属性を細かく分析し、その人にとって有益な情報を最適なタイミングで配信することができれば、一気にビジネスは面白くなります。中には「データを取られるのがこわい」と感じる方もいるかもしれません。しかし、データ活用のゴールは「豊かな社会の実現」であり、Society 5.0（※）そのものでもあります。普段の行動と同じく、SNSでも見られていい行動を取ることが、新しい常識ということができるでしょう。

※Society 5.0とは、日本が目指すべき未来社会の姿。「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」と定義。
内閣府サイト：https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/

#先生に聞く、SNSのこと

心の中に“ASOBI”を持つことで、世界の見え方が変わります

岩本 武範 教授

経営学部

専門分野：ウェルビーイング、都市マーケティング、ASOBI

SNSは、誰もが“晒される”時代をつくりました。感情的な言葉、誰かの行動、あるいは偶然の出来事までもが、ワンクリックで拡散されていきます。誰かとつながりたい——それは、人間らしい、ごく自然な欲求です。けれど、瞬間的な“共感”が、いつしか誰かを追い詰め、後戻りのできない断絶を生むことがあります。私は、そんな時代だからこそ、「認知的な“ゆとり”＝ASOBI」を持つことが、何より大切だと考えています。即座に反応するのではなく、一呼吸おいて、心の中に余白を育むこと。それは、「他者と異なる視点を受けとめる力」や、「失敗を許す気持ち」「未完成を楽しむ余裕」、そして「わからなさから始まる探究心」につながっていきます。問いにすぐ答えが見つからない——そんな不安も、実は豊かさの兆しかもしれません。心の中にASOBIを持つことで、世界の見え方は変わります。判断や創造が生まれる空間、そして希望をつなぐ対話の力が、そこにはあるのです。情報社会の倫理とは何か。知識よりも、「問いにとどまる強さ」を、いま私たちは求められているのかもしれません。

#産大生のSNS事情

友人との連絡、トレンドのチェック、エンタメの視聴など、SNSは今や日常生活に欠かせないツールとなっています。本学の学生120人を対象に、SNS事情を調査し、利用率の高かった主要SNSの特徴を比較しました。知りたいことや発信したい内容に合わせて上手に使い分けられれば、日常がもっと充実するかもしれません。



情報収集に使うSNS BEST3

1 Instagram

2 X（旧Twitter）

3 TikTok



SNSの使い方 BEST3

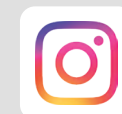
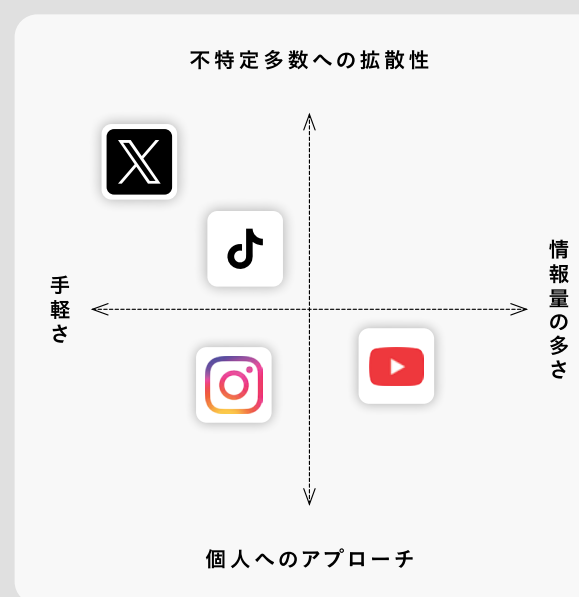
1 音楽・マンガなどの視聴

2 友人や家族とのコミュニケーション手段

3 暇つぶし



4大SNSの特徴



Instagram

画像や動画が中心でビジュアル性が高い。女性ユーザーが多く、ファッションやライフスタイルの投稿が多い。



X（旧Twitter）

テキスト投稿が中心で、最新のニュースやトレンド情報をリアルタイムで確認できる。リポストや引用ポスト機能により拡散力に優れている。



TikTok

ショート動画が中心。すべての動画が一定のユーザーに閲覧される仕組みのため、フォロワー数に関係なく拡散されやすい。



YouTube

幅広い世代で利用されており、コンテンツのジャンルは多彩。動画が蓄積されるので、時間差で再生数が伸びることも。

静岡産業大学公式Instagram

オープンキャンパスの様子や学内で行われたイベント、クラブ・サークル紹介など、産大の「今」を写真と動画で発信中！！

大学の魅力をもっと知りたい方はぜひ公式アカウントを覗いてみてくださいね♪

こちらからCHECK //



2025 MAY 07

[HU-MAN]

地域や社会で活躍している
在学生や卒業生の様子を紹介

会社経営者

在学中に音楽関連の
会社を設立

平井 陽希さん

経営学部 経営学科 4年
静岡県立掛川工業高等学校出身



大学では軽音楽部に所属し、昨年まで代表を務めました。音響を担当するPAエンジニアやドラムなど幅広く活動しています。授業がない時は部室で作業していることが多いです。

バンド活動をしていた高校生が志した起業 音楽をもっと身近に感じられる世の中へ

学生起業すると決めて産大へ

中学2年生の時、実家にあったギターを弾いてみたことが音楽を始めたきっかけです。高校に入ってからバンドを組み、都心のライブハウスに出向くなどして積極的に活動してきました。当時の夢は、バンドで売れること。同時に、バンド活動がよりしやすく、音楽をもっと身近に感じられる世の中にするための会社を立ち上げることも決めていました。静岡産業大学を選んだのも、経営学を学ぶためです。

才能あるバンドを支援したい

大学入学後、全国ツアーを行うなど、活動の幅を広げていきましたが、次第に売れることの難しさに直面するようになりました。自分たちも含め、全国にはもっと才能のあるバンドがたくさんいるのに、なぜ脚光を浴びることができないのか……。その疑問の答えは、大学1年生の時に広告代理店でアルバイトをした経験を通じて、発信の仕方にあるのではないかと気づきました。実際にアルバイト先で学んだ見せ方や伝え方の工夫を活かして、自分たちのバンドのミュージックビデオを制作したところ、再生回数が大きく

大学3年生の夏、「studio noir」を設立 今、自分がやりたいことに一番近い選択をしよう



伸びたのです。
この経験を通して、いつしか才能あるバンドを支援したいと思うようになりました。

大学3年の夏に会社を設立

2024年7月、「studio noir（スタジオノール）」を設立しました。当社のビジョンは、すべての人が使いやすい・わかりやすいサービスを提供すること、当たり前前に音楽がある生活に寄与すること、バンドのイメージを向上させること。具体的には、配信ライブ制作、音楽イベントの企画・運営、プロモーションビデオの制作、レコーディングやマスターリングなどを手がけています。

事業発展を目指して

大学卒業後は事業に専念し、会社を大きくするのが目下の目標です。また、1つのゴールに見据えているのが、バンド活動をする人向けのマッチングアプリの開発です。バンドメンバーを探すアプリは既に存在していますが、私が構想しているのはプラスアルファの機能を持つアプリ。レコーディングスタジオやライブハウスとつながったり、ライブを撮影してくれるカメラマンとつながったり、バンド活動をスムーズに行える機能をたくさ



ん実装する予定です。今はツテがないとできないことが多く、それが原因で活動を制限されているバンドも少なくありません。バンド活動をする人が主体的に動くことのできるプラットフォームを構築し、すべての人が音楽のある生活を楽しめる世の中にしていきます。

ただ、アプリ開発には多額の資金が必要ですから、きちんと利益を上げることも重要です。起業前は感情が先行していましたが、起業後は経営視点で物事を考えられるようになった点が、自身で感じる成長ポイント。これは、経営学部の先生方や、関わってきた経

営者の方々から学んだことです。

やりたいことに一番近い選択を

大学在学中に起業したい方にお伝えできることがあるとしたら、やりたいと思った時に行動することの重要性です。迷っているうちに時間はあっけなく過ぎてしまいます。一方で、挑戦することの怖さもあるかもしれませんが。しかし、若いからこそ出会える人、助けてもらえることがあるのも事実です。あまり気負わず、気軽に一歩を踏み出してみると、案外共感してくれる人が集まったり、いい出来事が起こったりするものです。その時やりたいことに一番近い選択をする。これを繰り返すことで、夢を現実にすることができると、私は信じています。

PAエンジニア

PAエンジニア（通称PA）は、コンサートや舞台、レコーディングなどマイクを使う場面で必ず必要とされる音響のスペシャリスト。会場に適した音にするために、音量を調節したり音のバランスをみたり、音をエフェクト（加工）するのが主な仕事です。音楽イベントなどでは演奏者のポテンシャルを引き出し、PAエンジニアによって演奏の印象が変わります。

サークル 活動紹介



PICK UP

地域、世界とつながる ボランティアサークルです！

磐田キャンパスの「ボランティアサークルさんさん」では、地域での活動参加や、ボランティア団体を通じた寄付など、さまざまな社会貢献に取り組んでいます。

ボランティアサークルさんさん

大学2年の時にサークルを発足。
私たちの「居場所」でもあります。

太陽のSun×産大のさんで「さんさん」です。サークル立ち上げから丸一年が経ちました。これまで行った活動は、「小児病棟の壁面飾りつけ」「児童発達支援・放課後等デイサービスのお手伝い」「絵本を届ける運動」など。活動を通じて出会う人や仲間との交流が、大学生活を豊かにしてくれています。



おしゃべりをしながら活動する時間が楽しく、それぞれの居場所にもなっています

代表者

経営学部 心理経営学科
高山 心鈴さん 3年
北海道釧路北陽高等学校出身



使い終わった飾りは子どもたちが再利用してくれています！

CASE : 01

アジアの子どもたちへ
絵本を届ける運動に参加



アジアの図書館
サポーターになると
現地からお便りも！

シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に参加し、現地の言葉のシールを貼った翻訳絵本をアジアの子どもたちに届けています。資金は「リサイクル募金しゃぼん」で調達。教職員に協力を呼びかけ、これまでに1,000冊以上の本を寄付しました。

CASE : 02

藤枝市立総合病院の
ブレイルームを装飾



小児病棟にあるブレイルームの壁の飾りつけを、季節に応じて年4回実施。保育士を目指す学生たちのアイデアやスキルが活かされています。病棟に訪れる子どもたちや看護師さんたちも楽しみにしてくれていることが、大きな励みになっています。

「3びきのくま」作：ポール・ガルドン 訳：多田ひろ美（ほるぷ出版）／「じょうずな歯みがき」文：楠章子 絵：ながおかえつこ（くもん出版）

INFORMATION

浦田周社木版画美術館 企画展

明日へつづく輝^{ひかり}

静岡産業大学開学30周年記念企画展「明日へつづく輝（ひかり）」が好評につき、開催期間を延長して展示しています。県内の自然を描いたものから県外の風景の作品まで、これからの皆さまの希望となるような作品の数々を、ぜひともご覧ください。

開館日 / 月～金曜日 9:00～18:00

※閉館時刻が変更になる場合があります。

休館日 / 土曜日、日曜日、国民の祝日、本学行事開催日、大学休校日

入館料 / 無料

住所 / 静岡産業大学藤枝キャンパス

（メディア・アートセンター・藤枝図書館内）

〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4丁目1番1号



■ 大学行事予定（2025年前期）



6月22日（日）	オープンキャンパス（藤枝・磐田）	8月24日（日）	オープンキャンパス（藤枝・磐田）
7月16日（水）	自然災害等による授業予備日	9月6日（土）	父母等相談会
7月17日（木）	月曜授業	9月7日（日）	オープンキャンパス（磐田）
7月18日（金）	火曜授業	9月16日（火）	在学生オリエンテーション （AMスポーツ科学部3年・4年、PM経営学部3年・4年）
7月21日（月祝）	オープンキャンパス（藤枝・磐田）	9月17日（水）	在学生オリエンテーション （AMスポーツ科学部2年、PM経営学部1年・2年）
8月2日（土）	オープンキャンパス（藤枝）	9月18日（木）	在学生オリエンテーション （AMスポーツ科学部1年）
8月13～15日（水～金）	休校	9月22日（月）	仮履修登録期間 （9月25日（木）正午まで）
8月19日（火）	成績公開	9月25日（木）	前期卒業式・後期入学式
8月23日（土）	オープンキャンパス（磐田）	9月26日（金）	後期授業開始履修確認期間 （10月2日（木）17時まで）

■ 図書館のご利用について

	藤枝キャンパス		磐田キャンパス	
開館時間	月～金曜日	9:00～19:00*	月～金曜日	9:00～19:00*
休館日	土曜日、日曜日、国民の祝日、本学行事開催日、大学休校日			
利用資格	静岡産業大学学生・教職員、一般市民			
お問い合わせ	054-646-5441		0538-36-8844	

※閉館時刻が変更になる場合があります。

■ 大学施設のご利用について

本学では、授業およびクラブ・サークル活動で使用する時間を除き、学外の方も大学施設を利用することができます。詳しくは各キャンパスの総務課・事務局までお問い合わせください（一部施設は有料となります）。

	藤枝キャンパス	磐田キャンパス	BiViキャン（藤枝駅前サテライトキャンパス）
利用可能時間	9:00～21:00	9:00～21:00	9:00～21:00
主な施設	各種講義室、コンピュータ演習室、体育館、フットサルグラウンドなど	各種講義室、グラウンド、スポーツセンター、テニスコートなど	講義室、セミナールーム、活動交流スペースなど
お問い合わせ	054-645-0191（藤枝キャンパス 総務課） （受付時間 9:00～17:00）	0538-37-0191（磐田キャンパス 総務課） （受付時間 9:00～17:00）	054-639-7164（BiViキャン事務局） （受付時間 9:00～17:00）



NEWS



磐田キャンパスのトレーニングルームがリニューアルされました！

全面改修を行っていた磐田キャンパス第2スポーツセンターのトレーニングルームがついに完成しました。今回の改修作業では、トレーニング機器や館内全体の老朽化、不具合などの問題を解消し、学生が快適に効率よくトレーニングができるよう、機器や内装デザインにもこだわりました。これまで使用していたトレーニング機器の修理・再塗装によるリユース（10台）に加え、最新の機器（ウエイト系7種14台、有酸素系7種9台）を導入したほか、フリースペースを大胆に設置し、柔軟運動やセミナー開催などさまざまな用途に対応できるようになっています。学生の皆さん、ぜひリニューアルされたトレーニングルームをご活用ください！

EVENT



藤枝市立青島北中学校と外国人留学生在が交流授業を行いました

藤枝キャンパスの外国人留学生5名が藤枝市立青島北中学校の英語の授業に招かれ、中学生との交流授業を行いました。授業では、中学生が自分の好きなものや日本の文化・マナーについて、英語で外国人留学生に発表し、意見を交わすことで、積極的な交流が行われました。授業終了後、外国人留学生からは、「中学生のみんなと話せてよかった。元気いっぱい楽しかった！」などの意見が出て、充実した交流になったことがうかがえました。こうした貴重な機会を設けてくださった藤枝市立青島北中学校の皆さまに、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

EVENT



令和7年度入学式が開催されました

4月2日（水）、グランシップ中ホールにて入学式が行われ、388名の新生入生たちが新たな門出を迎えました。堀川知廣学長は式辞で「教員や仲間と議論し、一緒に考えることが大学の授業の面白さ。大学生活を楽しんで個性を磨き、自分の進みたい道を見つけて」と新生入生を激励し、新生入生代表の大長優也さんは「大学では新しい分野に挑戦し、自らの可能性を広げたい」と誓いの言葉を述べました。また式典では、近年増加傾向にある留学生に向け、日本の大学初の試みとして、堀川学長の声や表情をもとにした「AI学長」によるメッセージビデオが8か国語で上映され、留学生に向けた新たな取り組みとなりました。

ANNOUNCEMENT



地域活性化と留学生支援に向けた新たな取り組み

本学は、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として、島田市と包括連携協定を締結しました。同市が主催するイベントやボランティア活動への学生の派遣や、課題解決に係る調査・研究事業の実施などを通じて、まちづくり、DX、防災、地域産業活性化などの分野で、これまで以上に連携を強化していきます。また、SFGマーケティング株式会社と「職業紹介に係る業務提携契約」を締結しました。本提携では同社が保有する求人情報を活用し、県内就職を希望する留学生と地域企業をつなぐことで、地域定着支援と人材確保、経済活性化を図ります。

PROJECT



県内大学初となる「るるぶ特別編集『静岡産業大学』」を公開中！

静岡産業大学では、JTBグループ企業の1つで旅行・ライフスタイル情報を提供する株式会社JTBパブリッシングと一緒に、静岡県内の大学では初となる「るるぶ特別編集『静岡産業大学』」を企画・制作。2024年11月下旬より進学説明会などで順次配布するとともに、大学ホームページ上でも公開しています。本誌は、静岡県内外に住む高校生に、静岡県や静岡産業大学に対して興味・関心を持ってもらうことを目的に、大学進学後にキャンパスライフを送る静岡県、そして、本学のキャンパスがある藤枝市・磐田市の周辺地域の「見る」「食べる」「遊ぶ」の紹介に加え、「学ぶ」をテーマにして冊子が構成されています。制作には、経営学部・万浪靖司准教授の「地域観光文化論」の授業を履修した藤枝と磐田の両

キャンパスの学生と、日頃から地域の課題解決を探る活動に取り組んでいるプロジェクト学生が携わりました。約100名の学生が22チームに分かれて「自分たちが考える地域や大学の魅力」について現地調査をしながら掲載内容を考案。授業の最終日は、JTBパブリッシングの社員を招いて各キャンパスでプレゼンテーション発表会が行なわれ、最終的にはすべてのチームのアイデアが活かせる掲載コンテンツが採用されました。本誌は非売品のため、書店には並びませんが、本学主催のオープンキャンパスや大学見学会などで配布しています。高校生の皆さんはもちろんのこと、幅広い世代の方々に楽しんでいただける内容となっていますので、ぜひご覧ください。

誌面はこちら



ANNOUNCEMENT

新任教員紹介

川合 智之 Kawai Tomoyuki 経営学部

専門分野：キャリア論、インターンシップ、就職支援
趣味：テニス、阪神タイガースの応援（家族で大ファン!）

メッセージ

会社員、大学職員、講師、起業などの多様なキャリアを経て、今年度より本学に着任しました。働き方が日々変化する現代において、一人ひとりが楽しく働き、自分らしいキャリアを歩んでいくにはどうすればよいのか。その答えを、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。また、授業のほかにも就職支援塾の講師も務めております。就職が難しいとされる企業・団体へのチャレンジを目指している3年生の皆さん、ご興味のある方はぜひお気軽に声をかけてくださいね。



PICK UP

職員紹介



野依 康平（情報システム課）
趣味：サウナ
ニックネーム：のよりん



兵庫県宝塚市出身。理系大学卒業後、一般企業でシステムエンジニアとして活躍。関西にある大学の職員を経て、2014年に当法人に入職。写真左は大学祭にて。

Q.どんな仕事をしているの？

法人全体（大学・高校・中学校）のネットワーク管理がメインです。

Q.入職してからの思い出は？

スポーツ科学部の新設に携わり、ハードな日々を送ったことです（笑）。

Q.学生の皆さんに一言！

学業だけでなく、部活や趣味、あるいは恋愛でも、今しかできないことを全力で楽しんでください！